

ライブラリーニュース5月号

笠岡商業高校 図書委員会

2011.5.11 発行

新学期が始まって約1ヶ月が過ぎました。

みなさん、本を読んでいますか??

あまり読んでいない人は、自分で時間を見つけてドンドン読書してください。本を読むことはきっと自分のためになるはずです。

また、6月には芸術鑑賞もあります。

今回は、6月の芸術鑑賞の内容についてと、図書委員のおすすめの本を3冊紹介したいと思います。

図書委員おすすめの本

『デュラララ』

成田 良悟 著



舞台は東京・池袋。

都会の非日常に憧れる少年・竜ヶ峰帝人は、幼馴染の誘いもあり、地元を離れて、池袋にある来良学園に入学することに。

歪んだ恋と友情、その裏は秘密だらけ。痛快なほどマトモじゃない!! 衝撃の青春ファンタジー!
2010年にアニメ化され、笠商図書室貸出数No.1の人気作品です。

『阪急電車』 有川 浩 著

宝塚～西宮北口間を約15分で走る阪急今津線。

8つの駅を舞台に偶然乗り合わせただけの乗客たちの物語。短い時間の中、電車内という限られた空間で繰り広げられる心温まる物語に、あなたもほんの少し幸せになれるのでは??



『ネコ立ちあがる』 岩合 光昭



活字ばかり続く本は飽きてしまうので、本を読みたくない人にオススメ。

可愛いネコの写真ばかりなので、読んだら癒されるかも。

個人的に29ページの下の写真が可愛くていいと思います。

☆☆☆今月は下記の図書委員が担当しました☆☆☆

3A道廣菜月・3A広内健太・3B平井成美・3C原田祐子・3D山本亜美

芸術鑑賞 6/1 実施

今年の芸術鑑賞は『紙工劇落語（しこうげきらくご）』です。

様々な絵を切り出す 紙切り※ と、笑いのある 落語 が合体した劇です。

紙切り名人として、日本を代表する林家正楽を父に持つ兄弟が行ってくださいます。

○ 兄の桂 小南治（かつら こなんじ）さんが落語

○ 弟の林家 二楽（はやしや にらく）さんが紙切りで

兄弟ならではの息のあったコントが見られます。

初めて落語に触れる人も、紙切りでイメージがもっとふくらみ、物語も親しみやすいですよ。

※ 紙切り＝紙を鉋で切り形を作る、日本の伝統芸の一つ。

客からのリクエストに応える場合もあり、縁起物や芝居の一場面など古典的なものから、動物やアニメのキャラクターまで題材は多岐に渡る。形で表現するのに難しいお題も、その場で頓知を利かせて具現化させたり、切っている最中も黙ったりせず、客を飽きさせないように喋り続けるなど、単に紙を切る技術だけでは成立しない芸である。

プログラム

【第一部】寄席芸能

一、落語

三遊亭 円馬

二、色物

林家 二楽（紙切り）

三、上方落語

笑福亭 鶴光

くお仲入り（休憩）く

【第二部】

四、紙工劇落語

桂 小南治

（落語）

林家 二楽

（紙切り）

